

STAND UP!

うちなだ議会だより Vol.106
平成23年7月26日

6月定例議会	2
委員会レポート	3
意見書・請願	4
12人が登壇 一般質問	5-17
新広報モニター決まる	18
ありゃ～どうなったがいね～	19
突撃！街かどインタビュー <small>くげやすのり</small> 久下恭功さん（向陽台）	20



大きく育て、未来のたから（向栗崎保育所）

発行 石川県内灘町議会



平成23年度 一般会計補正予算

6月
定例議会
7日～16日

1,946万円を減額

平成23年第2回定例会が開催され、一般会計では1,946万2千円を減額し、総額78億7,053万8千円となりました。その他、専決処分の承認、平成23年度国民健康保険特別会計補正予算、条例改正などを審議し、すべて原案のとおり承認、可決しました。



河北潟に浮かぶソーラー環境センサー

主な内容

戸籍住民台帳費 2,400万円

法改正に伴い、住民情報システムを改修する。これにより、外国人が他の市町へ住所を移しても、引き続き住民基本台帳カードを使用することができる。(平成24年7月から)

道路新設改良事業 800万円

向粟崎旭ヶ丘72号線道路築造設計委託料
幹1号向粟崎大根布線、準幹1号線、幹5号
鶴ヶ丘中央線・鶴ヶ丘西1号線の舗装構成の調
査および実施設計委託料。

町制50周年記念事業 346万円

愛楽曲、記念切手シート・年賀はがき等の製作

河北潟 UFO 事業 123万円

河北潟水質監視装置整備事業にかかる、ICT機器類の借上げ料。河北潟UFO事業とは、蓮湖渚公園の釣りデッキ横にソーラー環境センサーを浮かべ、各種の環境データを採取し、町ホームページから情報発信します。これにより環境団体の活動や地域住民への啓発を行ない、河北潟の再生を図る。総事業費は3,028万円。

防災対策事業 610万円

被災地へ支援のため提供した町の防災備蓄品の補充。

災害用毛布パック	315万円
非常食	195万円
簡易用トイレ	100万円

専決処分の承認

国民健康保険特別会計

平成22年度国保会計で不足した1億137万6千円を平成23年度分から補ったものを追加し、総額を27億5477万6千円としました。

(全員賛成)

補正予算

国民健康保険特別会計

ヘルスアップ事業のシステム改修費や、保健指導プログラムの開発等を行なうため129万8千円を追加し、総額を27億5607万4千円としました。

(全員賛成)

条例の改正

町税条例

都市計画税の納税義務者など所要の改正と、地方税法の改正を受け、個人住民税の雑損控除、住宅借入金控除の特例を改正。

(全員賛成)

人事案件

固定資産評価審査委員

高桑真知子 氏

再任・鶴ヶ丘
(全員賛成)

総務産業建設常任委員会

Q 鶴ヶ丘3丁目の松の木はすべて伐採するのか。

A 町会要望を受け町会と協議を重ね、3年計画で伐採し、一部区間においては間引きを行なうことになっており、本年度で全て完了する。

Q 向粟崎地内にある緑のアーメニティ管理道路改良について、再度地元説明を行なうのか。

A 工事内容は、地元住民が納得できるように再度検討し、開示していく。

Q 東日本大震災の被災地への支援は、要請のあるものだけでなく、独自の支援はしないのか。

A 被災地側と連絡をとり、当町の意見を伝え調整していく。

Q まちづくり基本条例の進捗状況を議会に対しても示せ。

A 議会の委員会等で報告し、質疑の機会を設けていく。



一日も早い復興を（南三陸町）

文教福祉常任委員会

Q 武道館耐震補強・改修事業での設計段階では、床下地材はどのような工法で改修されるのか。

A 体育関係者の要望では床弾力性能が必要とのことから、鋼製スプリング工法を考えている。

Q 夕陽ヶ丘苑では新館への入所費用は旧館と比べてどのくらい差額があるのか。

A 条件により多少の違いはあるが、月額約3万円高くなっている。

Q 町体育施設使用料見直しでの基本的な考えは。

A 受益者負担が原則であり、減額免除制度の特例措置については、現状調査の上、見直しを検討する。

Q 学校給食で、アレルギー体質の児童への対応は。

A 事前に調査し、体質に配慮したメニューを提供している。



2,800食の台所（学校給食センター）

Q 失業者対策事業として、蓮湖若公園親水空間事業における雇用方法は。

A ハローワークを通じ町民を優先して雇用するよう、また事業主へも地元雇用をお願いしていく。

意見書を採択

■採択

提出先

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、総務大臣、
財務大臣、文部科学大臣、
経済産業大臣、内閣官房長官



国会議事堂

原子力・エネルギー政策を転換し、自然エネルギー政策促進を求める意見書
(賛成10人、反対5人)

提出議員 清水 文雄

賛成議員 八田 外茂男 渡辺 旺 水口 裕子

趣 旨

1. 原子力政策から脱却し、自然エネルギーへの転換に取り組むこと。
2. 気候変動政策・低炭素社会構築にエネルギー政策の転換を反映させること。
3. 原子力安全行政を一新し、独立した安全規制委員会を新設すること。
4. 自然エネルギー促進への、加速的投資を行なうこと。
5. 緊急時計画区域（EPZ）の拡大と安全基準の見直しを図ること。

審査しましたあなたの請願

■継続審査

中学校卒業までの子どもの医療費の完全無料化と「病院窓口での支払いなし」を求める

1回目

請願者

新日本婦人の会 内灘支部 支部長 宮本 喜久子（鶴ヶ丘4）

紹介議員 北川 悦子

請願要旨

3月の石川県議会で、「子どもの医療費を中学校卒業まで完全無料にし、病院窓口での支払いをなくすることを求める」請願が採択され、すみやかな具体化・実行が求められる。県内では、通院・入院を中学校卒業まで助成している市町は、12自治体に広がり、このうち5市町は、自己負担も廃止している。また全国では、病院窓口での支払いを「なし」にしている県は35都道府県に広がっている。

（継続に賛成12人、反対3人）

原子力発電所の安全対策の抜本強化を求め、原発ゼロをめざす計画作成を国に求める

1回目

請願者

新日本婦人の会 内灘支部 支部長 宮本 喜久子（鶴ヶ丘4）

健康で暮らそう内灘の会 代表世話人 西村 昭（向陽台2）

全日本年金者組合 内灘支部 執行委員長 北川 進（鶴ヶ丘4）

紹介議員 北川 悦子

請願事項

- 1 原発依存の電力供給、エネルギー政策を転換し、原発ゼロをめざす計画を作ること。
- 2 運転停止中の原発の運転再開を中止すること。
- 3 原発周辺の断層の評価を再検討すること。
- 4 原発の耐震安全性の抜本的な見直しを行うこと。
- 5 原発の津波対策を抜本的に見直すこと。
- 6 老朽原発を計画的に廃止し、プルサーマル計画は中止すること。

（継続に賛成12人、反対3人）

12人が登壇

新人議員デビュー

一般質問



6月9日

能村 憲治 議員
川口 正己 議員
藤井 良信 議員
渡辺 旺 議員
中島 利美 議員
酒本 昌博 議員

6月10日

北川 悦子 議員
恩道 正博 議員
水口 裕子 議員
生田 勇人 議員
太田 臣宣 議員
清水 文雄 議員

今回の傍聴 62人
ありがとうございました



能村 憲治 議員

アウトレットは夢なのか

可能性がある限り夢を追う 町長

能村 町はアウトレットの誘致を計画し、運営会社（キエルシージャパン）と交渉を進めてきた。

5カ年計画で候補地の一つに入っているが、計画が出て3年以上過ぎ、町長は医科大学の講演で誘致を進めていると話したが具体策がない。

町長 運営会社へは、季節ごとに状況を把握するため訪問を続けてきた。そのたびに内灘については「候補地の一つと考えている」と聞いている。効果を考えると誘致したい。可能性がある限り夢を追っていきたい。



コンフォモール内灘で開催された世界大動物園

能村 21年末、白帆台商業地にコンビニが開業した。その後いまだに企業の進出がない。

都市整備部担当部長 人口増加が見られ、誘致が有利になり、スーパーを中心に接触を続ける。

能村 ほのぼの湯を移転後、福祉センターを含めたすべての跡地利用は。

町長 具体策はないが、土地利用を踏まえ町民のニーズを勘案し協議する。

能村 跡地の市街化調整区域で何が建てられるのか。

町長 福祉センターの新築は可能。全体を公園用地とすれば、利用者の宿泊施設としては民間も可能。

能村 選挙公報の配布を町会の班長にお願いしているが負担が重い。

選管書記長 今後郵便業者、宅配業者等による配布の委託を検討したい。

能村 投票率低下は高齢化のアカシア、千島台投票所等、距離が遠いことが影響していないか。

選管書記長 投票区の再編は、利便性を考え今後検討。

能村 期日前投票開始直後は、公報誌がなく候補者を選ぶ資料がない。

選管書記長 公職選挙法で定められており、県選挙管理委員会や委員研修等で申し述べたい。

ペット専門学校の進出は

能村 コンフォモール内灘の一部で、国際ペット専門学校を開校する計画が発表された。24年4月の開校を目指し、学生数400人、専門学校では国内最大級を想定。4月中には全体構想ができると同っていた。その後どうなっているのか。

9月頃迄に結論

都市整備部担当部長 当初計画は、専門学校の集積を目指した。現状の学園側の計画では、国際ペット専門学校の進出が決定。それ以外は未確定。全体構想も決まらず1年遅れている。「本年9月ごろに結論を出す必要がある」と学園側は言っている。



川口 正己 議員

旧緑台保育所を活用せよ

具体化に向け検討していく 町長

川口 核家族化が進み、新興住宅地だけでなく、旧在所でも老人だけの家庭や独居老人世帯が多くなっている。人間関係の希薄化は全国的なものであり、少子高齢化が進む我が国ではますます進んでいくと言われている。旧緑台保育所を高齢者や児童のコミュニティセンターとして活用しては

町長 地域の人と人とのつながりを大切にし、互いに見守り助け合う社会の仕組みづくりが大事だ。今後、地域や世代間の交流を促進し、地域コミュニティの活性化、安心して暮らせる社会の構築が町の重要な課題となっている。

その構想の具体化に向け、町民の意見も伺いながら検討していく。



地域コミュニティセンターとして活用せよ

なぜ未舗装の町道があるのか

川口 西荒屋小学校の北側にある一面の道路は町道認定されているにもかかわらず、未舗装で、上下水道も通っていない。そのため、地権者はこの土地に家を建てることのできない現状である。

前向きに協議していく

都市整備部長 この道路は、西荒屋区の要望に基づき、平成15年に町道認定を行なっている。地権者から道路用地の提供を受け、町と西荒屋区において道路整備に関する覚書を締結している。住環境の整備に向け関係各位と協議していきたい。



早急な住環境整備を

川口 町の最大の使命は、町民の生命、財産を守ることだ。

川口 アカシア2丁目の町道が袋小路になっている。この不便を解消せよ。

都市整備部長 住民の生活環境、定住促進を踏まえ、前向きに協議したい。

都市整備部長 解消するには公園などの課題があり、今後検討したい。

水口議員から地域コミュニティについて関連質問がありました。

地域防災計画を見直しせよ

町長 計画の洗い出しを進める



藤井 良信 議員



中小企業へのBCP普及を推進せよ（内灘町商工会）

藤井 内灘町地域防災計画は近年の大野川はらんや異常気象からの災害を受けて、平成22年3月30日に全面見直しの修正が行なわれている。

町長 地震対策に関する計画部分の大幅な見直しが必要であり、特に津波での防災計画においては様々な技術が必要である。現在、町独自で情報の収集を行ない、不十分と思われる項目及び未着手になっている計画を洗い出すなどの点検作業を進めている。

藤井 地域防災会議での重要課題は何か。

総務部長 津波での広域にわたる甚大被害など、中長期的な災害対応の対策が必要である。

藤井 防災会議そのものが形骸化していないか、現場への調査活動は行なわれているか。

総務部長 基本計画の修正にかかる情報収集、避難対策など協議していく。

藤井 被災者支援システム導入のための登録は。

総務部長 平成21年12月に利用許可申請を行ない、許可を受けている。

藤井 導入せよ。

総務部長 専用サーバーの機器ならびに設定にかかる費用を予算化し、早急に導入を図っていく。

事業継続計画 策定せよ

藤井 地震や水害などの大規模な災害や、不測の事態が発生したとき、企業や自治体が早期復旧のために組織内での役割分担や、連携業務の組み立てが速やかにできるよう、地域体制を整えるための事業継続計画（BCP）が今注目されている。

町のBCPを策定せよ。

策定に向け 準備を進める

総務部長 町のBCP策定では新型インフルエンザに対応している。

地震発生時の計画では災害時の応急業務と優先すべき通常業務を洗い出し、また必要な資材ならびに人材を配置、整理し、効果的な運用を図る計画の策定に向けて防災計画とあわせ準備を進める。

藤井 町でBCPセミナーの開催など、中小企業への普及を推進せよ。

都市整備部担当部長 経営改善普及事業に組み入れてできないか、商工会と協議していきたい。

藤井 住民の避難所として十分機能するよう、学校の防災機能向上のための町の取り組みを示せ。

総務課長 国の補助金制度を調査活用し、防災設備の整備を地域防災計画の見直しの中で行なう。

被災者支援システム とは95年西宮市が独自で開発し、このシステムにより罹災証明の発行、救援物資の管理、義援金交付など業務の迅速な対応が可能となるシステム。

津波ハザードマップはあるのか

作成し周知啓発する 町長

渡辺 内灘町大規模災害による職員初動マニュアルで、津波警報が発生されたとき、津波によるハザードマップ（災害予想地図）があるのか。

渡辺 想定外の津波対策を聞く。

渡辺 指定避難場所も液化現象の調査をせよ。

国に事業化を

働きかけよ

町長 県の調査結果に基づき、津波ハザードマップを作成し、町民へ周知啓発していく。

町長 場所によって危険度が高い箇所もある。個別の災害に応じた適切な避難所の見直しを進める。

渡辺 千葉県の手賀沼は国の北千葉導水路事業で浄化作業を行なっている。河北潟干拓事業は国の事業であり、町は国に対し全面的に解決するように働きかけよ。

町長 内灘町地域防災計画では、標高3メートル未満の海岸地域は危険があり、海岸線の一部を津波危険地域としている。

町の居住区域は含まれないため、津波ハザードマップは現時点では作成していない。



渡辺 旺 議員



町地域防災計画では高さ3m弱の津波を想定している

有効な手段を模索

町長 これまで、県や国に対して、また、国会議員を通して要望を続けてきたが、なかなか前へ進まないのが現状だ。

酪農を初め河北潟ブランドの強化を図る上で、木場潟の例にもあるように、農林水産省の事業として水質浄化策を実施してもらおうことも有効な手段だと思っている。



国の事業で河北潟水質浄化を図れ

渡辺 鶴ヶ丘東保育所と鶴ヶ丘保育所を統合し、民設民営するとなつている。場所は決まったのか。

町民福祉部長 旧鶴ヶ丘乳児保育園と町立鶴ヶ丘保育所を合わせた町有地を、現在検討している。

渡辺 目標年次まで2年しかなく、早急に決めよ。

町民福祉部長 国庫補助金は不透明で、町の財政も見きわめ、平成25年を目標に進めていく。



中島 利美 議員

助成年齢の引き上げを

国の方針に対応する

町民福祉部担当部長

中島 町の子宮頸がんワクチン接種状況は50%未満。命を守るための大切な助成制度であり、より一層の周知・啓発運動に取り組んで頂きたい。町独自で高校三年生までを助成対象とできないか。

町民福祉部担当部長

昨年度の未接種者に対する救済措置として、平成22年度高校一年生であった現在高校二年生を助成対象に加えた。国では平成24年度に向けて定期接種化を検討している。国の方針に的確に対応していきたい。



予防接種の周知啓発を

実践に近い防災訓練を

中島 災害に遭遇したとき、自分を守る自助避難や地域による共助避難が重要になってくる。

町は坂道の多い地形であり、要援護者が避難所にとどり着くよう避難経路を確認し、う回路の指示等を含めたより実践に近い防災訓練の計画はあるのか。

8月に実施予定

町長 平成21年度以降、災害時要援護者支援プランに基づき、避難経路の確認や誘導訓練を実施している。今年度は清湖小学校で8月に開催予定。

今後、各種防災関係機関や地域住民と協議し、より実践に近い訓練を開催する。

中島 高齢者や障がいのある方も安心して暮らせるよう、災害時要援護者台帳の幅広い活用を。

中島 高齢者や障がいのある方も食べられる非常食の購入予定はあるのか。

町長 国の支援プランに基づいて作成されており、目的以外には利用しない条件になっている。

町長 品質や保存期間を調査し、住民が食べやすい非常食を補充する。



より実践を想定した防災訓練に



酒本 昌博 議員

公共施設の耐震工事は できる限り早い時期に

町長

酒本 学校、保育所、集会所、公民館等の公共施設で、耐震工事の進捗状況を示せ。

町長 小中学校の校舎、体育館の耐震化は平成21年度にすべて完了。平成22年度には町総合体育館、保健センター、鶴ヶ丘・宮坂の両学童保育クラブ施設の耐震化工事を完了。今年度は**武道館の耐震化工事**や向栗崎学童保育クラブとの複合施設の向栗崎体育館の耐震診断を行なう。鶴ヶ丘・鶴ヶ丘東両保育所は民営化による建設を計画しており、保育所施設の耐震化は終了する。

その他の施設は、できる限り早い時期に耐震化事業の推進を図る。



耐震診断される向栗崎体育館

発電設備の現状は

酒本 災害時におけるライフラインについて問う。電気の確保、庁舎、消防署、学校等の発電設備はどこまで充実しているか、現状を示せ。

主要施設に配備

総務部長 町内施設は役場庁舎、消防署、総合体育館、文化会館に非常用発電装置を整備している。水道施設として鶴ヶ丘・向陽台浄水場、宮坂中継ポンプ場がある。燃料を補充しない状態での発電装置の稼働時間は、役場庁舎が175時間、消防署が72時間、総合体育館が12時間、文化会館が2時間、水道施設はいずれも10時間となっている。



役場地下に設置されている発電設備

内灘町武道館の耐震補強・改修工事の調査設計が委託発注されました。昭和51年に建築された同施設は、より安全と快適なスポーツ施設として整備されることになり、平成23年10月の工事完了を予定しています。また来年度から中学校では、武道が必修の科目となります。

北陸電力に説明会を求めよ

町長 要請していきたい



北川 悦子 議員

北川 福島原発事故の終息と原因究明がないまま、志賀原発の運転再開は許されない。
新聞報道によると、町長は地元同意に参加を求める意向を示しながら、町の安全性を考え、なぜ北陸電力に説明会を求めないのか。

町長 福島原発事故で、大きな被害が出て、今もなお終息のめどがつかない不安を持っているのが現状だ。

防災対策重点地区は志賀町だけで、町は権利制限がないと思っていた。説明会を要請していきたい。

北川 津波を想定した、避難訓練と指定避難場所情報の伝達方法の見直しが必要だ。

総務部長 浸水想定区域の見直し等、調査結果に基づき、津波ハザードマップを作成する。

北川 障がいのある人や介護が必要な方への福祉避難所を指定し、受け入れ訓練が必要。

総務部長 夕陽ヶ丘苑と協定締結に向け、協議をしている。

北川 防災備蓄品に戸別の間仕切りを配備し、防災訓練時に組み立てを実施せよ。

総務部長 避難所でのプライベートの確保は大変重要であり、必要な備蓄品を再点検していく。



保育士の登録制を導入せよ

登録制を提案

北川 広報に4月嘱託職員募集1名、5月、6月パート保育士助手4名募集とあったが、実際に応募があったのか説明せよ。保育士は大変で、かうじて回っているのが現状だ。

保育士の登録制を提案する。

待遇面も含め検討

町民福祉部長 5月以降の保育児童数の増加に伴い、気になるお子様や3歳未満児の保育士補助が必要。

嘱託職員は国の保育基準を満たしたので、採用する必要がなくなった。

パートは現在応募のない状況で、待遇面も早急に再検討する。

また、登録制は今後研究していく。

北川 今でも高い国民健康保険税。1世帯1万円引き下げに向け、一般会計から繰り入れせよ。

町民福祉部担当部長

納税義務者世帯は約3900世帯で、一般会計から3900万円が必要であり困難。

北川 子育てしやすい町として、子ども医療費助成の拡大を図れ。

町民生活課長 国、県の子育て支援施策の動向を見きわめ、全般の見直しの中で検討。

北川 コミュニティバスを、お盆の期間だけでも霊園前までルート変更はできないか。

企画財政課長 短期間であっても正式なルート変更手続等が必要で、変更はできない。

消防庁舎の移転計画は

移転先用地を確保 町長

恩道 消防庁舎が地盤沈下の影響で傾いている。

地震や災害時には耐震性や地盤の液化化現象で消防や救急活動に支障をきたし、危険である。

町民の生命と財産を守る消防、救急活動の拠点となる消防庁舎の移転計画を聞く。

町長 消防庁舎は昭和49年に建設され、平成元年に車庫・事務所部分が増築された。



早急に移転、新築を

恩道 平成24年度末を目標とした中央ブロック消防広域化の見直しは。

消防長 各消防本部の考え方の違いから、現時点では広域化の設立にいたっていない。

町の名所づくりを進めよ

恩道 「恋人の聖地」の発信や北陸新幹線金沢開業に向け、内灘の名所づくりを進めよ。

その方策として河北潟放水路両岸にお花畑公園をつくる夢のある計画について、今後の町の取り組みを問う。

全面的に支援

町長 内灘魅力発信行動計画に河北潟放水路の花畑構想も組み入れている。実現すれば、サンセットブリッジから河北潟、日本海ともに一望できる町の名所となる。

町も夢のある計画を全面的に支援し、イベントの開催、案内看板の整備に取り組み。



恩道 正博 議員

敷地は軟弱地盤で、旧建物が東側に傾いている。地震発生時には車両を車庫から移動させている。消防庁舎建設は消防の広域化を待たず、移転先用地を確保していきたい。

消防長 中央ブロックの2市2町の広域化の協議は具体的に進んでいない。

恩道 2市2町は中央ブロックの広域化に向けて勉強会を重ねているが、消防広域化の進捗状況は。



放水路両岸にお花畑を

中川議員から消防庁舎について関連質問がありました。



水口 裕子 議員

原子力安全協定が結ばれていない

参画の思いはある

町長

水口 志賀原発から約40キロの内灘町と福島県飯館村の姿が重なる。

町では原発との安全協定も結ばれず、原子力防災計画にも組み入れられていない。

町民を守る立場として町長はどう思うか。

町長 飯館村はEPRZ(防災対策重点区域)から離れているが、高度な放射性物質が検出され、計画的な避難区域となった。内灘町も当事者として原子力防災計画の中に入らなければならないの思いはある。

水口 志賀原発の再稼働時期など、北陸電力に説明会を開かせよ。

町長 北陸電力は自治体や各種団体から説明会の要望があればこたえていくと言っている。

水口 原発54基中19基しか動いていないが何の都合もない。町は再稼働と節電どちらを選ぶか。

町長 これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄そして大量電力消費からまず節電を考える。



志賀原子力発電所の廃炉を求めよ

県と北陸電力に 申し入れせよ

水口 5月9日「原発震災を案じる内灘住民の会」で町長に申し入れた。

「1、志賀原発は廃炉を目指せ。2、津波対策費は、自然エネルギー対策にまわせ。3、プルサーマルは即刻撤回すべきの3項目を県と北陸電力に申し入れよ。」について町長の所感を伺う。

社会情勢に応じて 進める

町長 日本社会の経済や雇用、地域のことなどを視野に入れながら脱原発、自然エネルギーの推進を基本姿勢として貫いていきたい。

水口 志賀町へ原発廃炉の要請をせよ。

町長 判断は志賀町自身ができること。小泉町長には要望を伝える。

水口 自然エネルギーで、どんなまちづくりを目指すのか。

町長 町全体のエネルギーを町だけで生産できるように進めたい。

プルサーマルとは、「ブルトニウム」の略。「サーマル」は「サーマルニユートロンリアクター(熱中性子炉)」の略。少量のプルトニウム239を加えたウラン燃料を熱中性子炉で燃やすこと。



生田 勇人 議員

白帆台小学校の建設時期は 10年以内には可能 町長



子どもたちの教育環境向上を

生田 白帆台には、団地造成当初より小学校建設用地が確保されている。白帆台以外の地区の生徒数を含めた校区割り、合計目標人数を確保すれば建設できるのか。具体的には何年以内の建設・開校を目標としているか。

町長 定住世帯伸び率から考えると、10年以内には建設が可能になると推測している。宮坂区も加えた校区ならば、建設規模の目安となる250名に大きく近づき、4・5年は建設が早くなると考える。適正な時期を見極めて建設に着手したい。

生田 住民が今、最も期待を寄せている小学校建設に必要な生徒数・世帯数の目安は。

教育次長 学校の適正規模は国の指針どおり12学級から18学級と考え、約740世帯が目安となる。

空白地区の解消を

生田 町民の防災に対する不安が大きくなっている中、地区の中に耐震の公共施設がない空白地区がある。

避難施設に指定されている32施設のうち13施設が新耐震基準に適合しない建物であり、高齢者世帯割合の大きい地区を優先的に避難施設の耐震化を図るべきだ。

優先順位を 決め進める

副町長 指定避難所のうち13カ所については、これまで以上にスピードアップして耐震化を図っていききたい。

高齢化率が高い地区や、耐震性能を有する施設が近くにない地区を精査し、優先順位を決め進めたい。

生田 既存施設の耐震化に多額の費用がかかる場合は、住民と協議し新築も視野に入れ取り組め。

副町長 施設の建てかえや新築は、地元や議会と相談しながら進めていきたい。



地区唯一の避難施設が耐震不足（室公民館）

行財政改革を進めよ

町長 健全財政の堅持に努める



太田 臣宣 議員

太田 町は行財政大綱を策定し、実施計画、いわゆる集中改革プランに取り組み、経費の削減を図っている。

しかし安全・安心で住みよいまちづくりの実現のためには、さらに知恵を出し合い健全財政を図っていくべきだ。

今後の町財政の道筋を問う。

町長 平成27年度を目標に、第2次行財政改革集中改革プランの策定に取り組んでいる。

また平行して平成22年度から本格導入した外部評価を含む行政評価を活用し、業務の改善、効率的な行政経営を図り、健全財政の堅持に努めている。



役場入り口に設置されている求人コーナー

地域コミュニティを推進せよ

太田 公民館が地域コミュニティの場として、子供からお年寄りまで集えるよう周知・啓発ができないか。

また子供が安全に遊べるように改修せよ。

モデルケースを検討する

生涯学習課長

子供たちが安全に遊べる施設として、どのような使用形態が望ましいかニーズを調査し、より気軽に地域住民が利用できる方策が具体化したら、関係各位と相談して、公民館だよりやホームページなどで情報発信していく。

またモデルケースの取り組みも検討していく。

都市整備部長

太田 行政と商工会が協力し、河北郡市で連携を図り、雇用情報を収集・公開し失業者支援をせよ。

都市整備部長

河北雇用対策協議会や河北森本広域商工会と連携し、雇用情報の収集を図っていく。

太田 地元企業の育成の立場から、費用対効果を考え、予算の最も効率的な執行を求める。

都市整備部長 前年度中に実施設計を行なう等、発注の平準化を図り、効率的な早期発注に努める。



清水 文雄 議員

町独自の奨学金制度の創設を

制度の研究を進める

町長

都市整備部担当部長

清水 内灘海水浴場の事故防止策は万全か。

杭、浮き、ロープを設置して車両や水上バイクの進入を防止する。

清水 浜茶屋周辺の事故防止や防犯対策は。

都市整備部担当部長

新設されたライフセービング協会を加え、連絡会を開催し、万全を期す。

清水 海岸条例制定に向けた町の取り組みは。

都市整備部担当部長

議会に示し、当面の方針を決め、関係機関と協議を重ねる。

清水 谷本知事に対して、志賀原発の「運転再開に同意しない」よう申し入れる考えはないか。

清水 志賀原発から40キロの内灘町として、中身のあるものをきちっと保障を取り、町民に安心・安全を示していくべきだ。

町長 町単独ではなく、同じ境遇にある皆さんと力を合わせ範囲を広げて要望することが大事。

清水 現在、校下単位で実施されている、年1回の防災訓練をふやす考えはないか。

清水 現在、校下単位で実施されている、年1回の防災訓練をふやす考えはないか。

町長 これまでの回数にプラスしてできれば思っている。研究していきたい。

努力を始めたい

町長 どんな形であれ、その枠の中に入っていけたらという思いはある。

町単独よりも、むしろ

危機感を共有した自治体でお願いして、どんな形になるかわからないが、

努力を始めたい。

北陸電力と

安全協定を結べ

清水 北陸電力と安全協定を結び、原子力発電所にかかわる安全について町も当事者として加わっていく考えはないか。

清水 北陸電力と安全協定を結び、原子力発電所にかかわる安全について町も当事者として加わって

清水 北陸電力と安全協定を結び、原子力発電所にかかわる安全について町も当事者として加わって

清水 北陸電力と安全協定を結び、原子力発電所にかかわる安全について町も当事者として加わって

努力を始めたい

清水 北陸電力と安全協定を結び、原子力発電所にかかわる安全について町も当事者として加わって

清水 北陸電力と安全協定を結び、原子力発電所にかかわる安全について町も当事者として加わって

清水 北陸電力と安全協定を結び、原子力発電所にかかわる安全について町も当事者として加わって

清水 北陸電力と安全協定を結び、原子力発電所にかかわる安全について町も当事者として加わって



事故や防犯対策は万全か（内灘海水浴場）

新広報モニター決まる

議会だよりの紙面づくりに幅広い意見を取り入れることを目的として、広報モニターを10人の方々に委嘱しました。議会定例会終了後に発行される議会だよりについて、意見や感想をいただきます。よろしくお願いいたします。

上田 茜さん
奥田 克子さん
川上 純一さん
喜多 和昭さん
北川 一幸さん
坂野 千秋さん
中川 進さん
長原 忍さん
政氏 いく代さん
吉岡 誠司さん



厳しいご意見をお願いします



委嘱状の交付（任期2年）

地方自治の 振興発展に寄与

全国町村議会議長会より、渡辺旺議員に対し町議会議員として、15年以上の永年にわたり地域の振興および住民福祉の向上につくされた功績をたたえ、表彰状が渡されました。



渡辺 旺 議員

2年連続の受賞

平成22年度第25回町村議会広報全国コンクールにおいて、「うちなだ議会だより100号」が奨励賞を受賞し、2年連続の入賞となりました。



広報対策特別委員会

追跡

ありゃ～どうなったがいね～

遮熱塗料で CO₂ 削減を

ガラス面を多用した屋内温水プールや小中学校でも、遮熱塗料を採用し、CO₂ 排出量の削減を図れ。

平成22年6月議会 川口 正己 議員

答 弁

調査・検討する

遮熱塗料を塗る方法や、複層ガラスに取り替える方法があるが、費用や耐用年数等を総合的に調査・検討していく。

その後

断熱化工事、遮熱塗装工事を実施

屋内温水プールのトップライト部は複層ガラスに取り替えた。小学校図書室（向栗崎・大根布・西荒屋）のガラス面には遮熱塗装工事を行った。

武道館の耐震改修を

「義務教育施設に準ずる施設」として授業や部活動で試用されている武道館の改修を実施せよ。

平成22年3月議会 生田 勇人 議員

答 弁

早急にとりかかりたい

平成24年4月から武道が正課の授業として用いられる。安全に行なえる環境をつくりたい。

その後

来年4月には工事完了予定

今年8月から武道館の耐震改修工事をこなう。武道館は耐震補強工事と換気設備、更衣室、床改修等の環境改善対策が施される。

議会録画をご覧ください

●町ホームページで、インターネット配信されています。

議会を傍聴しませんか

次の議会は**9月**に開催されます。傍聴の受付は、当日3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL 286-6715

町議会Eメールアドレス

gikai@town.uchinada.lg.jp

町ホームページ

<http://www.town.uchinada.lg.jp>



子ども達がのびのびと育つ環境を

今回紹介する方は、向陽台の久下恭功さんです。

◆サッカーの指導歴が長いとお聞きしましたが、これまでの経験で嬉しかったことは？



○内灘町にも一緒に全国大会に出場した子供達がい

ます。その子供達が現在指導者となって今もつながりがあることがうれしです。

◆内灘に住んで何年になりますか？

○早いもので37年になります。出身は県外（京都）ですが、内灘町は住みやすく満足しています。

◆その間に町はどのように変わりましたか？

○サンセットブリッジやハ manus、白帆台住宅地など目に見える形で町は発

展しており、またイベント等でも風の祭典や、ビーチベースボールなど町の賑わいも感じられます。

◆内灘町の魅力は？

○大きすぎず小さすぎず、行政がまちづくりしやすい環境だと思います。また医療や福祉が充実し、活気がある素晴らしい町だと思います。

◆町への要望はありますか？

○スポーツをする環境を整

え、文武両道の町をめざし、将来の人材育成につなげてほしい。また子供たちがのびのびと育つことができるまちづくりをお願いしたい。



インタビューアール 太田 臣宣

編集 後記

暑い日々が続いていますね。あじさいが映える梅雨時に保育所では「あじさいランチ」が計画されました。各家庭から持ち寄った様々な種類のあじさいに囲まれ昼食を楽しんだようです。素敵ですね。

6月定例議会が終わり、新人3名を含む12名が一般質問をしました。東日本大震災と福島原発事故を受け、町の防災対策と志賀原発を問う質問が大半をしめしました。

議会だより広報モニターの方も新しい方々が決まり、ますます議会をより身近に、わかりやすく伝える「議会だより」となるように、努力していきます。

広報対策特別委員会

- 委員長 中島 利美
- 副委員長 北川 悦子
- 委員 藤井 良信
- 委員 酒本 昌博
- 委員 太田 臣宣

議会だよりもエコに配慮

印刷時に水を使用しない、CO₂削減で地球温暖化防止に役立つオフセット印刷方式を使用していることを明示する環境保護ロゴです。

大豆油のほかに、再生産可能な大豆油、パーム油等の植物由来油及びリサイクルした再生油を使用した環境対応型オフセットインキのことです。



1部あたりの単価は29.44円です。リサイクルペーパーを使用しています。